

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所かめさんち

公表日 令和8年 2月 16日

令和7年11月30日現在

利用児童数

17名

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13		1			○天候や活動内容に応じて十分な動きができるように各スペースを活用した屋内活動や近隣の公園などで野外活動を実施している。様子に応じて安全面の対策もしている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14				○複数の大人で手厚く支援して下さりありがとうございます。	○リーダーにて活動を進行し、活動や内容やねらいに応じてサブのスタッフを配置し、一人ひとりのねらいに応じて支援していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2			○視覚化された空間で子ども分かりやすいと思います。	○生活空間を活動ごとの構造化を意識し、スケジュールやタイムタイマーといった視覚的にわかりやすい環境も配慮した上で、見通しを持って自分で生活をする力を養って行く。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2				○活動中や前後の換気や物品等の消毒に今後も配慮する。活動に応じた物品の配置や整頓に配慮していく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				○子どものことをよく見てくださっていて状況に応じた関わりをその都度検討実行していただいていると感じています。	○一人ひとりに応じた専門的支援計画も作成し、個別・自立・集団活動を通してねらいが達成するように配慮していく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					○10月に支援プログラムを公表した。プログラムに沿った支援内容が実施されているかを定期的に検証していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				○その時々の子どもの状況を十分に理解してもらったうえで作成されていると思う。	○作成前に保護者と面談をしてニーズや課題を把握した上でスタッフ間で検討し、計画に反映させ作成していく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					○一人ひとりの支援目標を明確にし、必要な項目を選択し、具体的に支援内容を決定するように努めている。作成した計画の保護者への説明を丁寧に行って共有していく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					○スタッフ間で一人ひとりのねらいを意識して関わり、支援の質を高めていく。また、具体的に支援方法を検討して継続した支援に努めていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			○その時々様子を見ながら柔軟に対応していただけていると思います。	○様々な内容で計画している。こどもたちが興味をもって自発的に活動に取り組み、ねらいを達成していけるように工夫していく。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2		2	○かめさんちでそのような機会はないが、幼稚園でたくさんの子たちとの触れ合いがあるので問題ない。	○午前是他園との交流を実施している。午後利用のこども達は午前中併行通園先にてたくさん子ども達と生活後、利用していることから、事業所内での活動に専念し、交流は実施していない。今後も交流の計画や内容についてはかめさんちでよりや掲示板で報告していく。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					○改定時も速やかに丁寧な説明に努めていく。	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					○児童発達支援計画を作成後、内容について丁寧な説明を心がけ、保護者とねらいや支援内容について共有していく。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		1	○送迎時、日常生活の確認やかめさんちでの出来事等、しっかり情報を共有させて頂いています。	○送迎時や参観や振り返り面談などで、行動に応じた保護者の対応の手立てを提案している。一人ひとりのニーズに応じて就学、就園、受診といった仕組みについて話しができるように努めていく。また、参加可能な所外研修について情報提供していく。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				○いつでもどのスタッフでも話しやすい雰囲気作りに努め、対応する時間を確保できるように配慮していく。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				〇こまめに様子等を聞いてくださるので小さなことを相談しやすいです。	〇定期的に面談の期間を設け、必要に応じてすぐに保護者対応しながら共有した情報について職員間で検討した上での配慮に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				〇自宅で使えるスケジュール表やシール貼りなどかめさんち以外においてもフォローして頂いています。 〇とてもそう思う。	〇保護者に寄り添いながらも、内容に応じて情報の提案ができるようにサポート力を高めていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	1	3	〇送り迎えの時に他の保護者の方とお話をさせていただく時があります。 〇参観週間が設けられており、保護者同士の交流も出来ています。 〇会などは無いが、振り返りの時間に交流が持っている。 〇父母会はないが送迎時に他の保護者と話す機会がある時もある。	〇保護者やきょうだい向けのイベントの実施には至っていない。利用されている保護者のニーズを受け止めながら、家族やきょうだいへの支援内容については検討していく。各自送迎を生かして送迎時の茶話会などは定期的を実施していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1			〇送迎時、いつでも相談に乗ってもらえるような雰囲気づくりがされていると感じる。 〇幼稚園との連携をいつも図っていただけ有難いです。安心して相談することができています。	〇送迎時に気軽に相談の申入れがしやすいように送迎時に個別の会話を心がけている。どのスタッフと話しても安心感を感じられるように、研修等でスタッフ間の対応力を高めていく。相談内容に応じて併行通園先との情報共有をし、連携した支援に努めていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				〇電話やLINEも活用しながら、迅速な対応に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	4			〇個人LINEを使って、当日の子ども様子を文や写真で伝えてもらう機会もある。	〇計画や月報などは全体LINEにお送りし、活動の様子の写真や内容報告などは、個人LINEを活用していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1		1		〇個人情報の厳守を意識して、取り扱いに気を付けていく。職員間で随時、対応について検討していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13					〇各マニュアルについては、保護者がいつでも閲覧できるように集まり室の所持品の片付け棚の上に場所に常備している。訓練の実施についてはかめさんち日より廊下の掲示板にて知らせている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1				〇非常災害の想定を検討した上で、利用児の行動力に応じた避難、救出の手段を検討した上で訓練の実施に努める。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13				1	〇利用開始時やかめさんちだよりにて安全の確保についての計画を伝達し備えをした上で支援していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14				〇小さな怪我でもその時の状況などをしっかりと伝えてもらえる。	〇迎え時に説明していく。緊急を要する事故等についてはすぐに電話連絡をし、連絡がつかない時にはLINEにて連絡して伝える。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1			〇複数の事業所に登園する中で一番安心して楽しみに利用日を待っています。	〇スケジュールやひとりひとりに応じて見える化や事前伝達といった手法で見通しを持つ力を高めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			〇かめさんちに行かない日を残念そうにしている。 〇毎日のように「明日かめさんち？」と聞きたのしみにしています。	〇遊びや活動の内容を子ども達の興味、経験に応じてねらいの達成を目指して設定していく。通所を通して、好みが増え、自信が高まっていくように関わっていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				〇大変満足。 〇これからもよろしくお願いします。 〇子はもちろんのこと、親までケアして下さりいつも本当にありがとうございます。 〇相談事などその都度相談させてもらっているのでも大変助かっています。本当にありがとうございます！	〇日々の振り返りやケース検討によって一人ひとりの課題を明確にしながら、ねらいをもった支援に努めていけるように、研修や情報共有によって支援の質の向上を目指していく。